

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2017-217119 (P2017-217119A)

【公開日】平成 29 年 12 月 14 日 (2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2017-048

【出願番号】特願 2016-112274 (P2016-112274)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 W

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 24 日 (2019.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼を検査する眼科装置であって、
前記被検眼を検査するための検眼手段と、被検者の顔を含む撮影画像を撮影するための顔撮影手段と、を備える検眼部と、
前記被検眼に対して前記検眼部を相対移動させる調整手段と、
前記調整手段によって移動される前記検眼部の位置に基づく関心領域を前記撮影画像に設定し、前記関心領域における画像信号を処理する演算処理手段と、
を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】

前記演算処理手段は、被検者の顔の少なくとも一部を検出するために前記関心領域を設定することを特徴とする請求項 1 の眼科装置。

【請求項 3】

前記演算処理手段は、前記関心領域における画像信号に基づいて眼科装置を制御することを特徴とする請求項 1 ~ 2 のいずれかの眼科装置。

【請求項 4】

被検眼を検査する眼科装置において実行される眼科装置制御プログラムであって、
前記眼科装置は、
被検眼を検査するための検眼手段と、被検者の顔を含む撮影画像を撮影するための顔撮影手段と、を備える検眼部と、
前記被検眼に対して前記検眼部を相対移動させる調整手段と、を備え、
前記眼科装置制御プログラムは、前記眼科装置のプロセッサによって実行されることで、
前記調整手段によって移動される前記検眼部の位置に基づく関心領域を前記撮影画像に設定し、前記関心領域における画像信号を処理する演算処理ステップを、
前記眼科装置に実行させることを特徴とする眼科装置制御プログラム。

【請求項 5】

被検眼を検査する眼科装置であって、
前記被検眼を検査するための検眼手段と、顔照明光学系と、前記顔照明光学系によって照明された被検者の顔を含む撮影画像を撮影するための顔撮影手段と、を備える検眼部と

、

前記被検眼に対して前記検眼部を相対移動させる調整手段と、
前記調整手段によって移動される前記検眼部の位置に基づいて前記顔照明光学系による照明条件を制御する演算処理手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項 6】

被検眼を検査する眼科装置であって、
前記被検眼を検査するための検眼手段と、被検者の顔を含む撮影画像を撮影するための顔撮影手段と、を備える検眼部と、
前記被検眼に対して前記検眼部を相対移動させる調整手段と、
前記撮影画像における被検者の顔の少なくとも一部に対して関心領域を設定し、前記関心領域における画像信号を処理する演算処理手段と、
を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項 7】

前記演算処理手段は、前記関心領域における画像信号に基づいて前記顔撮影手段による撮影条件を制御し、撮影条件の制御後に取得された撮影画像を処理して被検眼を検出することを特徴とする請求項 6 の眼科装置。